

令和3年度 生活習慣病重症化予防連携推進会議 議事要旨

- 1 日 時 令和3年11月5日(金) 19:00～20:30
- 2 開催場所 北九州市役所3階大集会室
- 2 参加者 [構成員] 岡本構成員、海津構成員、金井構成員、柳田構成員、益田構成員、柴田構成員、岡田構成員、杉本構成員、前野構成員、大藏構成員、古市構成員、松丸構成員、丸子構成員、高島構成員、湯元構成員、安永構成員、足立構成員、田中構成員
[関係団体] 健康保険協会、福岡県庁、市職員共済組合
[事務局] 保健福祉局医務監、保健福祉局健康医療部長、保健福祉局健康医療部健康推進課長ほか

3 議 題

- ・北九州市国民健康保険第二期保健事業実施計画(データヘルス計画)中間評価等について(報告)
- ・糖尿病重症化予防連携推進に関する取組の評価と検討事項
- ・CKD 予防連携システムに関する取組の評価と検討事項
- ・その他

4 議題概要

- ・北九州市国民健康保険第二期保健事業実施計画(データヘルス計画)中間評価等について(報告)・・・資料2

議題資料について、事務局より説明。

<主な内容>

- ・短期目標、中長期目標の進捗状況について。
- ・特定健診受診率、特定保健指導実施率は、コロナの影響による受診控え等により減少した。
- ・現在、北九州市で課題となっているのが、介護保険にかかるお金であり、介護になる原因として脳血管疾患が一番多く、高血圧との関連が強い脳出血が多い。
- ・特定健診の高血圧症の割合が増え、医療の受診控えもあっている現状から、市民の健康を守り、保険料を上げないようにするためにも、これまで以上に特定健診、特定保健指導などの保健事業に取り組んでいく。

- ・糖尿病重症化予防連携推進に関する取組の評価と検討事項・・・資料3

<主な内容・結果>

- (3) 各団体の取り組み状況について

- ・コロナの影響により、イベント等が行えなくなり普及啓発や、患者同士、先生同士の交流ができなくなっている。
- ・今後どのように活動を再開できるか検討している。

(5) アンケートの実施について

- ・令和2年度中に実施予定であったが、コロナの影響により、実施の機会が得られず延期した。
- ・市医師会の協力により令和3年度中に実施する。
- ・アンケートの結果については追って報告。

・CKD 予防連携システムに関する取組の評価と検討事項 . . . 資料4

<主な内容・結果>

(2) 取り組みの評価

- ・二次医療機関受診対象者の者は少し増えているが、二次医療機関受診勧奨値で専門医にかかっている人の割合は増えている。
- ・後期高齢者医療に移行した方々の透析導入を予防する取り組みも必要である。

(3) CKD 重症度シールの作成について

- ・主にかかりつけ医の先生や腎専門医の先生がお薬手帳に貼り、コメディカル等で連携しながら取り組みを推進していく。

・その他 . . . 資料5

- (1) 北九州市における高血圧の取り組みについて議題資料について、事務局より説明。

<主な内容>

- ・国保、後期の保健事業、介護予防の取組みにおいて、高血圧が北九州市の介護の問題に直結するものであることと、高血圧未治療者が多い実態より、まず、高血圧対策に着手する方針で動き始めている。
- ・高血圧者の実態について。特定健診受診者でⅡ度の高血圧だった方のレセプトを確認すると、健診も医療も何も受けていなかった方や、内科以外には毎月行っていたという人も見受けられる。
- ・国保の保健事業では、これまで通り、成果目標の達成に向け、糖尿病の重症化予防や、腎臓機能低下への対策に取り組んでいく。併せて、3年後に介護保険料が7,000円代にならないように、という目標を持って、国保もこれまでの高血圧の取組みを行っていく。

(2) 次回開催について

令和4年10月～12月頃を予定。